

中国春季リーグ入替戦・国体女子広島県予選結果報告

広島大学体育会バレーボール部同窓生の皆様

(同窓会連絡フォームへ登録いただいた皆様及び同窓会やコートの仲間等でご連絡いただいた皆様へお送りしています。)

いつも大変お世話になっております。

広島大学体育会バレーボール部です。

6/10 に広島修道大学体育館において、春季リーグ入替戦が開催されました。

また、6/11 に広島県猫田記念体育館において、国体女子広島県予選が開催されました。

広島大学女子の結果は、以下のとおりです。

(入替戦)

vs 広島国際大学

●0-3 (14-25、7-25、13-25)

(国体予選)

1 回戦 vs 大野石油オイラーズ

●0-2 (10-25、12-25)

(広大バレー部 Twitter)

<https://twitter.com/hirodaiVOLLEY>

サーブやスパイクなど、相手から打ち込まれるボールに対し、本来であれば体で勢いを吸収し、トスが上げやすいリズム(ボールの回転や勢い、高さ)を生み出さないとはいませんが、ボールを体に引き付けることが出来ておらず、構えも早く、重心から遠い位置でボールに触ってしまっているため、他のチームが簡単に上げているようなボールでも、広大はただはね返しているだけになっています。レシーブは、練習やトレーニングの成果が一番現れるプレーですが、結果につながっていない原因を特定しないと、いくら練習や試合を重ねても上達することはありません。

プレッシャーのかからない国体予選では、入替戦以上のパフォーマンスを発揮することが出来ていましたが、勝たなければいけない相手は、同じ大学生であることを強く意識しなければいけません。自分たちよりもはるかに体格面、技術面で上回る相手に対し、およそ5か月後には勝つことを目標としているはずです。入替戦で山口大学が見せたように、レシーブ

が軸となって精神面で相手を上回ることができれば、勝機を見出すことも可能です。ただ、我慢比べのラリーになったときに、スパイカーが無理にコートの外で勝負したり、連続サーブになるとミスが増えたりする現状では、精神面でも課題が山積していると言わざるを得ません。

実習などでそもそも全員が集まることすら難しい中で、チーム力を高めることは容易ではありません。しかし、1部昇格を目指し、本気で練習も練習以外の時間も過ごすプレイヤーが現れると、チームは間違いなく変わります。周りが変わっていない間は、自分自身が本気になっていない何よりの証拠です。言動よりも行動で示せるよう、自分自身に問いかけて欲しいと思います。

さて、来週は上半期の大一番、男子の西日本インカレが関西地区で開催されます。

6月21日（水）ベイコム総合体育館サブアリーナ i コート第2試合（11時頃開始予定）

予選1回戦 vs びわこ成蹊スポーツ大学

（敗れた場合：サブアリーナ i コート第4試合）

予選2回戦 vs 高知工科大学と中京大学の試合の敗者

（ベイコム総合体育館アクセス）

<https://www.aspf.or.jp/park/access.html>

まずは予選突破を目指し、トーナメント戦でも勝利を重ねられるよう頑張ります。

引き続きよろしく願いいたします。